

## 2022年度事業報告

### 1. はじめに

障害者差別解消法・ヘイトスピーチ解消法・部落差別解消推進法の人権三法が施行され、6年が経過しましたが、まだまだ人権を取り巻く現状は厳しいものがあります。子どもや高齢者・障がい者に対する虐待や事件が多く報じられ、大阪は児童虐待にかかる通告件数が8年連続で全国ワースト1位となっている現状や依然として存在する在日外国人に対するヘイトスピーチの問題、さらに、インターネットの書き込みの中で人権を無視した差別落書等が後を絶ちません。こういった中、泉佐野市においては、「泉佐野市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことをめざす条例」が1993年に制定され30年を迎え、人権問題の現状をふまえ、様々な差別の実態や被差別部落当事者の声が反映される条例改正の実行委員会のメンバーとして、改正に向けた市民集会や署名活動を行う。また、市民に人権問題に関する正しい理解や認識を深め、人権問題を身近に感じてもらうため人権啓発活動を行いました。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今まで実施してきた事業が出来ない状況もありました。

2022年度事業につきましては、以下のとおり報告いたします。

今後とも引き続き、人権三法の周知や課題解消にむけ関係機関と連携を図り、部落問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決をめざし、人権問題の正しい理解と認識を図るとともに、差別のない人権社会づくりに寄与してまいります。

### 2. 公益目的事業（公1）

#### （1）人権相談事業

目的：生活上の課題を有する市民の方に対し、適切な助言や情報提供並びに事案に応じた適切な機関の紹介、取り次ぎを行い課題解消に努める。

2022年度、相談件数と相談の内訳は、以下の通りです。

#### 月別相談件数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	1	2	3	2	2	1	2	2	1	2	2	2	22

#### 相談の内訳（相談1件であっても、相談内容により複数の分野に計上）

（内訳）

A 福祉・健康		B 教育・保育		C 就職・就労		D 人権		E その他	
区分	件数	区分	件数	区分	件数	区分	件数	区分	件数
障害・病気	2	子育て	2	就職	7	人権	1	住居問題	1
生活困窮	3	保育園児	4	資格取得	4	虐待	0	年金手続	1
医療(介護)	1	奨学金	3	就労環境	1	結婚	0	行政相談	3
計	6		9		12		1		5

## (2) 人権国際交流事業

目的：諸外国の人々に対し、互いに異なる言葉、生活習慣、文化等を学び、相互理解を図るとともに、在日外国人の人権について認識を深める。

### ○「識字・日本語教室学習会Ⅲ」

：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## (3) 人権啓発・講習事業

目的：会員及び市民を対象とした講習、研修を実施し、人権問題について正しい理解と認識を深めるとともに、それぞれの地域において市民啓発に努める。

### ○「学習と総会」

日時：2022年6月25日 泉の森小ホール ☆参加者数112名  
人権に対する正しい理解と認識を深めていただくために、一般市民を対象とした学習会を実施した。

第2部、「学習会」では、講師に黄 光男さん(ハンセン病家族訴訟原告団副団長)を招き、「閉じ込められた命～ハンセン病回復者と家族」のテーマで講演会を行い、その様子を収録し、泉佐野市の行政情報番組「さのテレ」で放送して人権啓発を実施する。

### ○研修会・研究集会・学習会への参加

大阪府内外において開催される各種研修会、講習会に積極的に参加していたが、今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修会等の中止の状況もあり参加できなかった。

### ○まなび講座

日時：2022年8月1日 ☆参加者数200名  
「発達障がい」の理解と認識を深める為、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のためリモートで実施する。講師に工藤勇一さん(学校法人堀井学園 横浜創英中学・高等学校校長)を招き、「自立する子の育て方」テーマで、特性がある児童・生徒をはじめ、すべての子どもたちにとって、周りの大人が向き合わなければならない課題は(子どもたちの自ら学びたいという気持ちや自律心をどう育てるか)を具体的にどのような点を心がけていけばよいのかをともに考え実行していくことを学ぶ。

日時：2022年12月6日 市役所議場 ☆参加者数18名  
市、人権推進課と共催で、人権学習として、市民の代表である市議会議員(市議会)と連携を図るため、講師に友永健三さん(部落解放・人権研究所名誉理事)を招き、「市民の人権に関する意識調査」における人権問題の現状や課題等の学習会を実施する。

日時：2023年3月8日 長坂小学校体育館 ☆参加者数60名

人権学習として、水平社の創立・宣言をとおして、差別された人々の差別解消への取組を考え、差別をなくそうとする積極的な態度を身に付けるため、長坂小学校の児童に「水平社宣言学習会」を実施する。

日時：2023年3月24日 旧下瓦屋人権文化センター ☆参加者数80名  
講師に三宅宏司さん(武庫川女子大名誉教授)を招き、現在の大阪城を含む広大な敷地に、大阪砲兵工廠と呼ばれた、東洋一を誇る兵器製造工場あった、戦後78年を迎える今、忘れ去られようとしている「戦争遺跡」を学ぶ。

### ○泉佐野市青年問題研究集会

日時：2023年3月22日 単位青年団 ☆参加者数80名  
地域のリーダー又は子どもたちの良き指導者、良き理解者として、人権に対する正しい理解と認識を身につける為、今回はコロナの影響を考え各単位青年団で「青年団協議会と今後の青年のあり方を考える」をテーマに、どうすれば団員の人数を増やせるか・増やすための魅力的な行事や人権意識の向上にむけた事業展開について、各単位青年団でまとめ、執行委員会で各団長が報告し意見交換を行い、今後も青少年の人権問題や健全育成の取り組みを更に進めると共に、組織の拡大を図って行くことの確認を行った。

### ○泉佐野・熊取・田尻事業所人権連絡会研修会

日時：2022年5月18日 泉の森レセプションホール ☆参加者数60名  
あらゆる人権問題の解決のために、事業所の立場から公正な採用選考と企業内研修の充実のため、講師に三木啓子さん(アトリエエム株式会社代表取締役)を招き、「元氣な職場づくりのためのメンタルヘルス」のテーマで、職場におけるメンタルヘルス対策を強化するためには、正しい知識を身につけることや相談窓口を周知すること、まめな声掛けなど従業員とのコミュニケーションを大切にすることなどを学ぶ。

日時：2022年12月16日 泉の森レセプションホール ☆参加者数50名  
あらゆる人権問題の解決のために、事業所の立場から公正な採用選考と企業内研修の充実のため、講師に今岡まゆみさん(特定社会保険労務士、産業カウンセラー、ハラスメント防止コンサルタント)を招き、「自己尊重のコミュニケーションと職場の人権」のテーマで、職場での人権尊重や働く人のよりよい関係づくりにむけ、自分と他者の人権を侵すことなく、自己表現をする方法を学び、参加者による簡単なワークも取り入れ、共通のテーマの意見交換や交流することもできた。

日時：2023年2月21日 商工会議所第1研修室 ☆参加者数5名  
役員相互の連携や活性化を図るため、役員研修会として、講師に金井敬三さん(大阪企業人権協議会サポートセンター特任講師)を招き、「インターネットと人権」のテー

マで、SNSの利用拡大と人権問題について触れ、インターネット上の差別、人権侵害を防ぐには、誹謗中傷や差別的発言を書き込まないことや、相手はコンピューターではなく人であると常に意識する大切さを学んだ。

あらゆる人権問題の解決のために、事業所の立場から公正な採用選考と企業内研修の充実のため、泉佐野・熊取・田尻事業所人権連絡会の会員及び公共施設に啓発チラシを配布し事業所人権連絡会としての人権啓発を行った。

#### ○機関紙「きずなNo.59」

日時：2022年12月1日発行、市内全戸配布 30000部

泉佐野市人権を守る市民の会と一緒にいった事業を具体的に市民に周知し、人権問題への関心を深め、活動参加を呼び掛けるとともに、本年度は、「学習会の報告」と「昨年度の人権作文最優秀読書感想文の紹介」の記事を中心とした紙面構成にした。

#### (4) 歴史研究事業

目的：部落問題について、正しい理解と認識を深めるためには、被差別部落の歴史を学ぶとともに、被差別部落の歴史をとおして、人権問題について正しい理解と認識を深める。

日時：2022年9月30日 紀の川市周辺 ☆参加者数15名

「西光万吉永住の地を訪ね、不戦和栄について考える」をテーマに紀の川市周辺のフィールドワークを通じて、戦争と平和と人権について学んだ。

日時：2022年11月3日 下瓦屋南地域周辺 ☆参加者数12名

「下瓦屋南圃場整備地区をめぐる」をテーマに下瓦屋南地域周辺のフィールドワークを通じて、農業の歴史や人権の関わりを学んだ。

#### (5) 地域人権啓発交流事業

目的：市内全域、市民を対象として、人権問題について正しい理解と認識を深めるため、文化的行事や、スポーツの集い等を通じて、人権啓発・住民相互交流を図る。

##### ○人権啓発チラシの配布

2022年度 各2000枚 年2回(4月・10月)

あらゆる人権問題について取り組んでいることや、部落問題をはじめあらゆる人権問題についての正しい理解と認識を深めてもらうため、南部市民交流センター、近隣の町会及び公共施設等に人権情報のチラシを配布した。

##### ○人権パネル展

幅広く市民の方々と共に人権問題等に取り組んでいくため、公共施設において人権パネル展を開催した。

- ・南部市民交流センター 昭和初期の被差別部落での生活や環境、労働面のパネル展  
(2022年8月1日～10日) ☆参加者数200名
- ・生涯学習センター 来館者向けのパネル展「わたしも学校に行きたい」  
(2022年11月25日～27日) ☆参加者数873名
- ・佐野公民館 来館者向けのパネル展「わたしも学校に行きたい」  
(2022年11月29日～12月1日) ☆参加者数211名
- ・長南公民館 来館者向けのパネル展「わたしも学校に行きたい」  
(2022年12月2日～4日) ☆参加者数330名
- ・日根野公民館 来館者向けのパネル展「わたしも学校に行きたい」  
(2022年12月6日～8日) ☆参加者数220名
- ・北部公民館 来館者向けのパネル展「わたしも学校に行きたい」  
(2022年12月9日～12日) ☆参加者数437名

### ○ぼちぼちサロン

日時：2022年8月13日 泉佐野市立社会福祉センター ☆参加人数10名  
社会の偏見に妨げられて孤立しやすい精神科医療利用者同士の絆を強めるため、精神障がいのある市民の交流と学習会(人とうまく会話できない)を開催した。

日時：2023年2月18日 泉佐野市立社会福祉センター ☆参加人数8名  
社会の偏見に妨げられて孤立しやすい精神科医療利用者同士の絆を強めるため、精神障がいのある市民の交流と学習会(〇氏をどう支えるか)を開催した。

日時：2023年3月25日 泉佐野市立社会福祉センター ☆参加人数15名  
社会の偏見に妨げられて孤立しやすい精神科医療利用者同士の絆を強めるため、精神障がいのある市民の交流と学習会(精神保健の新しい常識を学ぶ)を開催した。

### ○反戦の夕べ

日時：2022年8月6日 旧下瓦屋人権文化センター ☆参加人数250名  
反戦と平和を訴えるため、反戦の夕べを開催しました。青年による盆踊りや模擬店等の開催、保育園児による太鼓披露を行い、地域内外の人々と交流を深めました。また、戦争は最大の人権侵害であることを学び、平和、人権の尊さを訴え、組織団体の代表による平和アピールを行った。

### ○オークいきいき祭

日時：2022年10月15日 南部市民交流センター ☆参加人数300名  
センター利用者及び市民との幅広い交流を行うため、うまいもんテラスの実施や、各クラブの方々や識字生の人権作品等の展示や日頃の成果を発表し、また、体育館では、施設を開放してレクレーションや体験教室を行って世代をこえて交流を深めた。

## ○北部市民交流センターまつり

日時：2022年10月29日 北部市民交流センター ☆参加者数 565名  
センター利用者及び市民との幅広い交流を行うため、舞台パフォーマンス（太鼓演奏、沖縄三線講座生発表、健康体操、クイズラリー・抽選会等）や、クラブ・サークルの体験・展示を行い、今回、「泉佐野市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことをめざす条例」の改正に向けた署名活動等のPRも行い、人権意識の高揚と交流を図った。また、模擬店を出店し、ふれあい交流を深めた。

## ○泉佐野市人権のつどい

日時：2022年12月3日 泉の森小ホール ☆参加者数320名  
人権週間事業として、市、教育委員会との共催で、市内の児童・生徒・保護者とともに人権問題について学習し、日常生活に活かしてもらうことを目的として開催しました。第1部、音楽のつどいとして、「チキンガーリックステーキアカペラコンサート～笑顔のハーモニー～」を上演した。  
第2部では、生徒より募集した人権作品の中から、最優秀作品を子どもたちが発表し、人権作品を通して人権問題に対して関心を深めてもらうとともに、市民、児童生徒、保護者との交流を深めた。  
また、その様子を収録し、泉佐野市の行政情報番組「さのテレ」で放送して人権啓発を実施する。

## ○第24回泉佐野市人権研究集会

日時：2023年3月5日 泉の森大ホール ☆参加者数150名  
泉佐野市差別撤廃条例を活かしながら「すべての人のじんけんが守れる泉佐野市」を実現していく為、人権研究集会（じんけん・わくわくスタジアム）を開催しました。  
講師に郡山総一郎さん（写真家）を招き「写真を通じて出会った人々～戦争・フクシマ・外国人労働者～」をテーマに講演を行い。生命の大切さ、平和とは、人権とは、写真という事実を見ながら学ぶことができた。併せて、わくわくミニ商店街や人権平和パネル展・住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度の登録受付も実施した。

## ○市民の会役員・あいあいクラブ会員合同学習会

日時：2023年3月7日 生涯学習センター多目的室 ☆参加者数55名  
市民の会の役員、あいあいクラブ会員及び一般市民も参加し合同で学習会を開き、人権問題についての今日的な学習をするとともに、会員、役員、市民の交流を深め、今後の啓発活動に活かすことを目的に、第1部「学習会」に濱野豊子さんを迎え、学びの居場所「COZY SPACE ゆまにて」の取り組みをテーマに実施する。COZY SPACEとは「居心地のいい空間」という意味で、勉強したいという人なら、小学生から大学生までだれでも利用できる学習スペースで、さまざまな事情により学校に行けない、勉強がわかりにくい子どもへの学習支援や、本人や保護者の相談も実施し、子どもの学び

を地域で総合的に支援し、安心して学習する場所の提供や学習支援等を行っている施設ということを学ぶ。

## ○地区委員会活動

小学校区（13地区）を単位として地区委員会を構成し、各地区それぞれで人権啓発及び交流を図るため、講演会・学習会・住民のふれあい行事等を行った。

### ・第一地区委員会

・日時：2022年11月24日 各町会

新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会の実施を見送り、人権啓発資料人として生きる「病気と差別」を各町会より回覧し、人権啓発活動を行う。

### ・第二地区委員会

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

### ・第三地区委員会

・日時：2022年11月19日 新町会館 ☆参加者数15名  
市職員の長尾譲治さんを講師に招き、「自殺者の推移について」厚生労働省自殺対策室、警視庁生活安全課の資料により報告をいただき、参加者からの意見などをおおして交流した。

### ・日新地区委員会

・日時：2022年12月12日 ホテルニューユタカ ☆参加者数39名  
DVD「小菊さんに会いたい」の鑑賞と意見交換を行い、高齢者の人権について学んだ。

### ・北中地区委員会

・日時：2022年11月1日 鶴原町会・下瓦屋町会・鶴原中央住宅自治会  
新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会の実施を見送り、人権啓発資料「病気と差別」・「夜間中学について」を各町会・自治会より回覧し、人権啓発活動を行う。

### ・長坂地区委員会

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

### ・佐野台地区委員会

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

### ・大木地区委員会

・日時：2022年11月5日 大木小学校 ☆参加者数150名

大木まつりは町ぐるみの行事となっているので、人権啓発の発信の場とし、情報発信を目的に、地域行事に参加するとともに、市内小中学生の人権作品を展示するコーナーを設置して人権パネルを提示し、また、パープルリボンやオレンジリボンのワイヤータワーへの取り付けを行い、人権啓発物品を配布して、子ども達や保護者に対し人権意識の高揚を図った。

- ・上之郷地区委員会

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・長南地区委員会

- ・日時：2022年7月28日 長南公民館 ☆参加者数26名  
地域ぐるみで、市民一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、講師に小村絹恵さん(一般社団法人イケダ大学精神保健福祉士)を招き、「いますぐ彼をときなさい～イケダ大学の報告から～」をテーマに講演いただき、精神障害者を地域で治療するイタリアの取組を学んだ。

- ・末広地区委員会

- ・日時：2022年11月6日 末広小学校体育館 ☆参加者数300名  
自主防災会主催の防災訓練に併せ、「人権パネル展」を実施、～広島復興の歩み・平和へのメッセージ～のパネルを展示し、人権啓発リーフレット、啓発物品の配布を行い、参加者に防災意識の向上と人権意識の高揚を図った

- ・中央地区委員会

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・日根野地区委員会

- ・日時：2022年11月18日 日根野小学校 ☆参加者数150名  
日根野小学校で、泉佐野市小中学生人権作品コンテストの優秀作品を展示するとともに啓発物品を配布し、人権啓発活動を行う。

- ・第26回ヒューマンカップゲートボール大会

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止